

競技注意事項

1. 規則

競技は2019年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則及び本大会要項、申し合わせ事項による。なお、2019年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則第162条5の適用はしない。

2. 練習

- 練習は陸上競技場の周りの公道及び指定した駐車場のみとし、安全面に十分注意して行うこと。
- 会場への投擲物の持ち込みは禁止とし、練習は招集後に本競技場に入場してから行う。
- フィールド競技の練習は、競技開始前に審判の指示により競技場内で行う。

3. 競技場とスパイクの使用

本競技場は全天候型である。使用できるスパイクのピンの長さは、走高跳12mm以下、その他は9mm以下とし、その数は11本以内とする。また、先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するものでなければならない。

4. 招集

- 招集所は、スタンド裏コンコース100mゴール側に設置する。
- 招集に遅れたものは棄権とみなし出場を許さない。競技を棄権する競技者は棄権届をTICで受け取り、必要事項を記入の上競技1時間前までにTICへ提出すること。
- 招集開始及び完了時間は下記の通りとする。

種目	時刻
トラック競技	競技開始30分前開始 競技開始15分前完了
フィールド競技	走幅跳、走高跳は 競技開始45分前開始30分前完了 棒高跳、砲丸投は 競技開始60分前開始45分前完了

- 招集は1回で、上記の時刻までに競技者本人（代理人は認めない）が招集所に行き、競技者係から点呼を受ける。点呼を受けた後は競技者係の指示に従う。
- トラック種目の競技者は、競技者係から腰ナンバーカードを受け取り、右尻部につけること。（リレー競技は第4走者のみ）

5. 入退場

- 入場については競技者係の指示・誘導に従う。
- トラック競技は、レース終了後腰ナンバーカードを係に返却し、第1通用門から退場する。
- フィールド競技は、競技終了後審判員の指示で最寄りの通用門から退場する。

6. ナンバーカード

- ナンバーカードは千葉県小中学校体育連盟陸上競技専門部指定のものを使用する。
- ナンバーカードは胸（腹ではない）と背にしわにならないように四隅をしっかりとつけ、切り曲げたりしてはならない。但し、跳躍種目は1枚を胸または背のどちらかにつけるだけでよい。

7. 走路順

トラック競技の予選の組、走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選しプログラムに数字で示し、決勝の組・走路順は本部で抽選し招集所・記録掲示場所に掲示する。

8. 棒高跳支柱移動申告について

各競技者は、競技開始15分前までに当該審判に自分の希望する支柱の位置を申告すること。もしも競技者がその位置を変更したいときは直ちに当該審判員に申告すること。

9. 3000mのスタート方法、給水について

3000mにおいてグループスタートを採用する場合のスタート方法は、各組のおよそ3分の2までが内側スタート、残りが外側スタートとする。なお、その際スタート10m以内には内側外側を分ける縁石は置かない。〔第162条⑩〕また、気象条件によっては給水を行う。

10. オープンレーンについて

男女800m競走はブレイクラインの交差する直前の各レーンに黄色の角柱（もしくは代用縁石）を置くこと。〔第163条⑤〕

11. リレー競技について（リレーオーダー用紙はTICに準備）

- リレー競技に出場するチームはリレーオーダー用紙に必要事項を記入し、最初の組の招集完了時刻招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出のこと。各ラウンド毎に提出すること。
- リレー競技においては、チームの出場者は同一ユニフォームを着用すること。
- リレーのマーカの使用は1カ所とする。〔第170条⑩を適用〕

12. 走高跳・棒高跳のバーの上げ方

(1) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

	練習	1	2	3	4	5	6	7	
男子走高跳	1m45 1m65	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m73	1m76	以降3cmずつ
女子走高跳	1m25 1m45	1m30	1m35	1m40	1m45	1m48	1m51	1m54	以降3cmずつ
男子棒高跳	2m50 3m00 3m50	2m80	3m00	3m10	3m20	3m30	3m40	3m50	以降10cmずつ
女子棒高跳	2m00 2m50 3m00	2m40	2m50	2m60	2m70	2m80	2m90	3m00	

(2) 第1位に関わる競技者が同成績の場合は、第1位決定のためのバーの上げ下げの範囲は走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。〔第181条⑧〕

13. 番組編成

1000mから8000mまで、また4×1000mRにおける決勝の番組編成は、上位1～4位の4名、または4チームを中央の3～6レーンに、5、6位が7、8レーン、下位2名または2チームを1、2レーンにアトラダムに割り当てて決定する。

14. 計時・競技の抽選

- (1) 競走競技はすべてのレースにおいて写真判定を採用する。
- (2) トラック競技においてプラス進出者を決める場合、その最下位で同タイム者が出たときは下記の方法で競技を行う。
 - ア、800m以下の競走競技、障害走、リレーにおいては、1000分の1秒以上の比較をし着差の判定をする。それでも判定できない場合は、次のラウンドに進める。
 - イ、1500m、3000mの同タイム者は、次のラウンドに進める。

15. 不正スタートについて

不正スタートした競技者はすべて失格とする。ただし、混成競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートした競技者は、全て失格とする。2019年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則第162条5の適用はしない。

16. フィールド競技について

フィールド競技は記録上位8名がトップ8へ進出となり、さらに3回の試技を認める。
(※走高跳、棒高跳は除く)

17. 用 器 具

- (1) 棒高跳のポール以外は競技場備え付けのものを使用する。
- (2) 棒高跳のポールは本部の公式計測員の検査を受けてから使用する。

18. 抗 議

発表された結果に対する抗議は、正式発表後（全てのラウンドにおいて15分以内、ただし翌日に上位ラウンドがある競技は30分以内）に各顧問がTICを通じて審判長に対して口頭で行い、控室で待機する。さらに、この裁定に不満の場合は預託金10,000円を添えて、担当総務員ジュリーに文書で申し出る。

19. 表 彰

各競技決勝終了後、本部前で直ちに行うので、8位までに入賞した選手は競技終了後表彰係の指示に従う。

20. 対抗得点と表彰

- (1) 男子1000m・2000m・4000m・110mH・8000m・女子1000m・2000m・1000mH・8000mは、A決勝とB決勝を実施する。順位決定はA決勝で行う。
- (2) 本大会は学校対抗制とし、得点は、1位8点、2位7点・・・以下8位1点とする。
- (3) 団体は男子・女子・男女総合優勝の学校に優勝杯、賞状を授与。2位～8位までに入賞した学校に賞状授与。
- (4) 個人については、各競技決勝終了後、本部前で直ちに行うので、8位までに入賞した選手は、競技終了後表彰係の指示に従う。

21. そ の 他

- (1) 各自の持ち物については自分自身で管理し盗難に注意する。
- (2) ゴミについては必ず持ち帰ること。競技場、駅、バス停などに絶対に捨てないこと。
- (3) 応援は必ずスタンドで座って行い、横断幕の設置は会場に関する注意事項を参照すること。競技中の集団応援は禁止とする。
- (4) 選手控え場所については競技場内のスタンドのみ（メインスタンド裏のコンコースは不可）とし、敷物などを設置して座席を独占してはならない。
- (5) プログラムの記載事項の訂正については1日目、2日目とも8：15までに、各校監督が総務員席へ届け出ること。
- (6) 競技中に発生した事故などについては応急処置を主催者で行うが、以降の責任は負わない。